

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療福祉総合学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	介護過程Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	602
担 当 教 員	小坂田 美香	実務経験とその関連資格	高齢者介護(介護老人福祉施設・地域密着型サービス)18年 介護支援専門員・介護福祉士・実務者研修教員講習修了			
《授業科目における学習内容》						
利用者の生活全体を捉え、根拠に基づいた支援を展開するための基礎から応用までを体系的に学ぶ。介護過程の意義と目的を理解したうえで、アセスメント・課題整理・目標設定・介護計画の立案・実施・モニタリング・評価の一連の流れを段階的に習得する。また、施設および在宅で暮らす高齢者を対象とした事例を通して、介護職として必要な実践的判断力とチームアプローチの視点を身につける。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験 70% 出席評価 20% 平常評価 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
介護福祉士実務者研修テキスト第3巻						
《授業外における学習方法》						
テキストを基本に予習、復習をしておく。						
《履修に当たっての留意点》						
介護過程Ⅰ・Ⅱでは、演習を通して介護過程の基礎から応用まで段階的に学ぶため、継続的な参加が重要となります。グループでの協力姿勢と、根拠をもって考える姿勢を大切にしてい取り組んでほしい。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	アセスメントから評価までの流れを介護職の視点で説明できる。		介護福祉士実務者研修テキスト第3巻	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	介護過程の進め方の基本。情報収集・課題整理・目標設定・計画立案の基本を確認する。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例をもとに利用者情報を整理し、生活課題を抽出できる。		介護福祉士実務者研修テキスト第3巻	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	アセスメントの実践。ICFを活用した情報整理と課題抽出の演習を行う。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活課題に基づいた目標設定と支援内容を考えられる。		介護福祉士実務者研修テキスト第3巻	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	介護計画の立案。短期・長期目標の設定、支援内容の根拠整理を行う。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護実施後の変化を評価し、計画の見直しを考えられる。		介護福祉士実務者研修テキスト第3巻	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	介護の実施・モニタリング・評価。モニタリングの視点と計画修正の流れを事例で確認する。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	施設生活における課題と支援方法を介護過程に沿って考えられる。		介護福祉士実務者研修テキスト第3巻	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	施設利用者の介護過程。老健・特養など施設の特徴と生活支援の視点を整理する。			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉士実務者研修テキスト第3巻	教科書の指定箇所を読んでもおく。
		各コマにおける授業予定		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉士実務者研修テキスト第3巻	教科書の指定箇所を読んでもおく。
		各コマにおける授業予定		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉士実務者研修テキスト第3巻	教科書の指定箇所を読んでもおく。
		各コマにおける授業予定		